

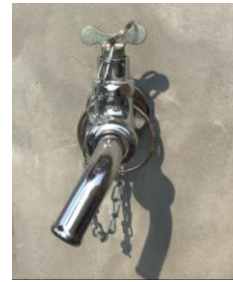
くれよん

令和2年4月発行

発行：堂村朱里

4月が一週間過ぎました。最初の課題、「新しい場所や人に慣れる」みんなすぐに達成することができ、保育園へお迎えに行くと楽しそうに車に乗りずっとおしゃべりしています。子どもたちの「おはようございます」の元気な声が聞こえると、職員一同パワーをもらう毎日です。

少しずつですが子どもたちの様子をお便りでお知らせしていきます。



園庭遊び

水を一生懸命に運ぶ子どもたち。

一日目、ジョーロの取手を握り運んだり、バケツに水をいっぱい入れたり、砂場に行く途中で水をこぼしてしまい到着したところには半分になってしまいました。そ〜っとそ〜っと運ぶことが難しくしまいには「先生が運んで」と・・・。

二日目、取手とジョーロの先をもって運んだり、バケツには半分だけ水を入れる姿。一日目の経験から「どうすればいいかな？」と子どもたちは考え工夫することができました。小さな一つ一つの経験を通し生きる術を学んでいきます。満タンに入った水を流すときは達成感の笑みが見られました😊

※最近の蛇口は自動や上下に動くものが多く、手首を「ひねる」という動作が少なくなっています。外の水道は手首と指先が使えるようにひねる蛇口にしました。



三輪車遊び

くれよんには近所の方に頂いたコンビカーと三輪車が一台ずつあります。A君、B君が楽しそうに乗っていると、C君が「ぼくも乗りたい」と近寄ってきました。C君がA君とB君に何回も「カシテ」と言うのですが「ダメ」の一点張り。A君とB君は端と端にいる職員の間を何回もグルグル回り楽しそうに乗って遊んでいます。そこで職員が「〇〇先生のところまで行ったら交代しようね」と声をかけるとスムーズに交代することが出来ました。二台の乗り物をお友だち同士で共有することが出来たこと、見通しが立つことで切り替えが出来たこと。子どもたちの成長です。

タイヤ遊び

くれよんには車とバイクのタイヤに色を塗り子どもたちが遊べるようにしてあります。

- ・タイヤに乗る人は落ちないようにバランス感覚と体幹が必要です。
- ・引っ張る人は腕の力と乗っている人が落ちないように考えて引っ張ることが必要です。

初めてしたので、乗っていた子が後ろにドンと尻もちをついて落ち、引っ張る子は全く力がなく職員が手伝いをしました。まだ回数が少ないのでたくさん経験していき、子どもたちがどのように成長していくのか楽しみです☆将来はスポーツ選手になっているかもしれませんね(〜)



※三輪車遊びとタイヤ遊びは職員も楽しくて写真を撮ることを忘れていました・・・アチャー🙄



くれよんの連絡先の追加をお願いします。

携帯：080-4206-2708

登録していただければLINEがつながります。

連絡等LINEでも大丈夫です☆

